

知事コメント

令和2年12月14日(月)
15 : 30 ~ 15 : 45

ただいま沖縄県医師会からも発表がありました。沖縄県の医療は、今、危機的な状況を迎えようとしています。

県内の新型コロナウイルス感染症は、9月の下旬頃から、じわじわと感染が拡大し、感染対策の集中実施として職場や会食、家庭での感染対策の徹底を呼びかけてきましたが、新規感染者数は約40人で高止まり、減少の兆しが見えない状況です。

高齢者の割合も上昇し、病床利用率は80%を超え、加えてコロナ以外の一般病床も90%超えが続いています。

また、現在の感染源の割合は、飲食40%、家庭内23%、職場10%、医療・介護施設9%ですが、家庭内は持ち込まれて広がる感染のため、主な感染源である飲食関係の感染を抑制する必要があります。

このまま感染者数が減少しなければ、冬場の救急医療の増加も加わり、年末年始には医療崩壊を招く危険性が高まっています。医療崩壊が現実のものとなれば、本来、助けられる命を失うことにつながる恐れがあります。

年末年始の医療崩壊を回避するためには、なんとしても新規感染者数を減少させなければなりません。そのため、対策本部会議を開催し、本日から来年1月12日までの間、緊急特別対策を実施することを決定しましたので、県民、事業者及び来訪者のご協力をお願いします。

1つは、営業時間短縮の要請についてです。

那覇市、浦添市、沖縄市内の飲食店及び接待を伴う遊興施設等においては、営業時間を、朝5時から夜10時までとするよう、要請いたします。時短営業の期間は12月17日から12月28日までとします。この要請に伴って営業時間短縮となる飲食店等には、協力金を支給いたします。

今回この3市を対象としていることについては、飲食関係を感染源とする事例が集中しており、市中感染も多く確認されていることによるものです。

なお、当該時短要請期間におけるGo To イートの利用については、県全域で夜10時までに制限します。

2つめは、離島への往来についてです。引き続き、来島自粛を求めている離島への往来は、自粛をお願いします。また、その他の離島についても、離島の医療体制は脆弱であることから、本島と離島間、離島と離島間の往来については、必要最小限とするよう、お願いします。

3つめは、帰省及び年末年始の行事についてです。

年末年始の休みを利用して、帰省される方も多いと思いますが、帰省は飛行機に乗る前から始まっていると認識して下さい。その2週間前から飲み会を避ける等感染リスクが高まる行動は控えるようお願いいたします。

そして帰省前10日間は、体調管理を徹底し、体調不良時は帰省の延期を検討してください。

なお、当然ですが、沖縄から県外へ渡航される方についても、同じような行動をとってくださいますよう、お願いします。

これからの時期は、クリスマスパーティや忘年会、新年会などの機会も増えますが、感染リスクが高まることから、4人以下・2時間以内とすることを徹底し、夜10時までに解散をお願いします。

年末年始恒例のイベントは同居家族と過ごし、不特定多数との接触を避ける行動をお願いします。初詣等は、混雑を避け休暇をずらして平日参加の検討をお願いします。正月など、年末年始に集まる際は、祖父母等の高齢者を守るため、マスクを着用し、大人数での会食を避けるようお願いいたします。

1月12日は成人の日です。成人式の主催者は、新成人に対して、式典終了後の宴会を控えるよう周知徹底してください。周知徹底が困難な場合は、成人式の延期や分散開催等の検討をお願いします。

新成人の皆様は、式典前後の宴会への参加、体調不良時の式典への参加、及び式典会場やその周辺での密集を控えるよう協力をお願いします。

今回は、いつもと違う、特別な年末年始になります。

この時期に本県に来訪される方々にとっても、いつもと違った沖縄を過ごしていただくことを認識して下さい。

長い間感染が収まらないことで、県内の医療現場では医療従事者が疲弊し、病床も既にひっ迫しているなど、危機的な状況にあります。

一方、コロナ渦において県民経済にも大きなダメージがあることも事実です。医療が危機的な状況にあることを経済関係団体とも共有し、協議を重ねた結果、今回の緊急特別対策を実施することを決定いたしました。

県民の皆さまにおかれましても、現在の危機的な状況を今一度認識していただき、なんとしても医療崩壊を回避し、県全体が穏やかな新年を迎えられるよう、一丸となって感染対策に取り組むことに、ご理解とご協力をよろしくお願いします。